

# DECISION

## Protest

Request No.: 10

Event: 2021近畿北陸学生ヨット選手権大会団体戦PC Race Number: 2  
Hearing Schedule: 2021-10-09 20:15

### PARTIES AND WITNESSES

Request No.: 10: 470 - JPN 4538 - 09立命館大学 - 山本 拓海  
470 - JPN 4489 - 06京都大学 - 井上 大地

### VALIDITY

**Objection to Jury:** No

**Within Time Limit:** Within Time Limit

**Incident Identified:** Yes

**Proper Hail:** Protest hailed

**Red Flag Displayed:** Not required

**Decision:** Request Valid

### PROCEDURAL MATTERS

20:30審問開始。

通信環境を良好にするため、リモートで参加したパネルメンバ(Hikaru Tagaya & Ayako Shima)の当事者に対する顔出しは行わなかった。

### FACTS FOUND

風速は4-6knotであった。

9号艇と6号艇は第1レグにおいて、スターボードタックで風上帆走していた。

6号艇は9号艇に対して3艇身先行しており、風下1艇身であった(1)。

6号艇はタッキングを行い、ポートタックになった(2)。

ここで、両艇はコリジョンコースとなった。

そのまま進んだ場合、6号艇のスターボードのガンネルの後方1/3と9号艇のバウが衝突するコースであった(2)。

タッキング完了直後に、6号艇は再びタッキングを行い、スターボードタックとなった。

6号艇がタッキングを完了した時、9号艇は6号艇の風上クリアアスターンにいた(4)。

6号艇がタッキングを完了した直後に両艇は最接近した。

そのとき両艇間にオーバーラップはなく、6号艇のスターボードのスタント、9号艇のバウとの距離は1/2艇身であった。

両艇に接触はなく、いずれの艇もペナルティを履行していない。



image.jpeg 3.37 MB

**Diagram:** Protest Committee diagram attached

#### CONCLUSIONS AND RULES THAT APPLY

**Rules:** RRS15

スターボードタックのクローズホールドとなり航路権を取得した6号艇は、9号艇に対し、初めに避けているためのルールを与えていた。よって6号艇は規則15に違反していない。

#### DECISION

いずれの艇も規則に違反していない。抗議を却下する。

**Date & Time:** 2021-10-09 22:00 JST

#### PROTEST COMMITTEE

**Chaired By:** Masayuki Ishikawa (JPN)

**Committee Members:** Kai Masuda (JPN), Ayako Shima (JPN), Hikaru Tagaya (JPN), Mai Kitajima (JPN)